

三重県入札等監視委員会 審議概要（令和4年度 第2回）

開催日及び場所	令和4年8月31日(水)14:00~16:00 JA三重健保会館大研修室	
出席委員	委員長 木本 凱夫 副委員長 堤 大三 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸 委員 加藤 拓也 委員5名中5名出席	
審議対象期間	令和4年4月1日から令和4年6月30日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 令和4年度 第2回定例会（令和4年8月31日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ① 木曾岬2期地区 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業 集中監視システム改修その2工事〔桑名農政事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・排水不良の原因として、老朽化による排水機の機能低下や、流域開発に伴う流出率、流域面積増に伴う流出量の増大があるが、老朽化とは耐用年数以前のもののなのか、流域開発とは森林などの開発なのか。 ・現在システムメンテナンスをしているのは今回の落札業者か。 ・既設設備を整備したのは今回の落札業者か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化は経年劣化によるもので、流域開発は農地から宅地等への開発である。 ・木曾岬町がシステム管理しているが、メンテナンスはやっていないようである。 ・既設設備の整備は今回の落札業者の関連業者のようである。
工事名 ② 三重保全二期地区 伊勢湾三期工区 伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業 干潟造成工事〔津農林水産事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・過去の類似工事に比べて1者入札となった理由として、何が考えられるか。 ・鈴鹿川河床掘削の土砂を使うとのことだが、経費が二重になっていないか。 ・月2回土日完全週休2日制工事試行案件とは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金額(工事規模)が比較的小さいものだったことが理由として考えられる。 ・河床掘削の土砂は陸上運搬で漁港へ搬入され、漁港に搬入された土砂を台船で運搬して投入する仕切りとなっている。 ・建設業の若年入職者対策の取り組みで、段階的に試行工事を増やしている。
工事名 ③ 三重県地区(深谷漁港他) 水産物供給基盤機能保全事業 護岸その2工事〔伊勢農林水産事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・漁港が劣化していく原因は何か。 ・今回の工事対象の漁港以外にも手入れをする必要がある漁港があると感じるがどうか。 ・高落札になった要因として、標準工期より長い設定で技術者の拘束期間が長くなるためとのことだが、どういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設はあまり手入れがされておらず、経年劣化など、複合的な理由で機能不全となっている。 ・限られた予算で優先順位をつけながら事業を進めている。 ・工期が長い分、経費がかかると考える。
工事名 ④ 中京都市圏 総合都市交通体系調査パーソントリップ調査業務委託〔都市政策課〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・この調査の結果がどう活かされたのか。 ・高落札になった要因として、常に国及び他県と連携、同調が必要とのことだが、どういう連携や同調が必要になって、業務の効率化が図りづらかったのか。 ・令和2年度に類似の業務で少額のものがあるが、これは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この調査の結果は市町と共有し、交通整備の資料などとして活用している。 ・今回の調査は国や他県とまとめてするため、すべて横並びではないといけないことから、効率化が図りにくい。 ・今回の調査が本体調査で、令和2年度の調査は、回収率などを把握するための小規模な事前調査である。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・次回、令和4年度第3回入札等監視委員会の開催日は、令和4年11月30日(水)とする。 	